

北部幹線の整備工事 “進む”

北部幹線建設協議会 稲田・徳間部会
 部会長 横山 以如

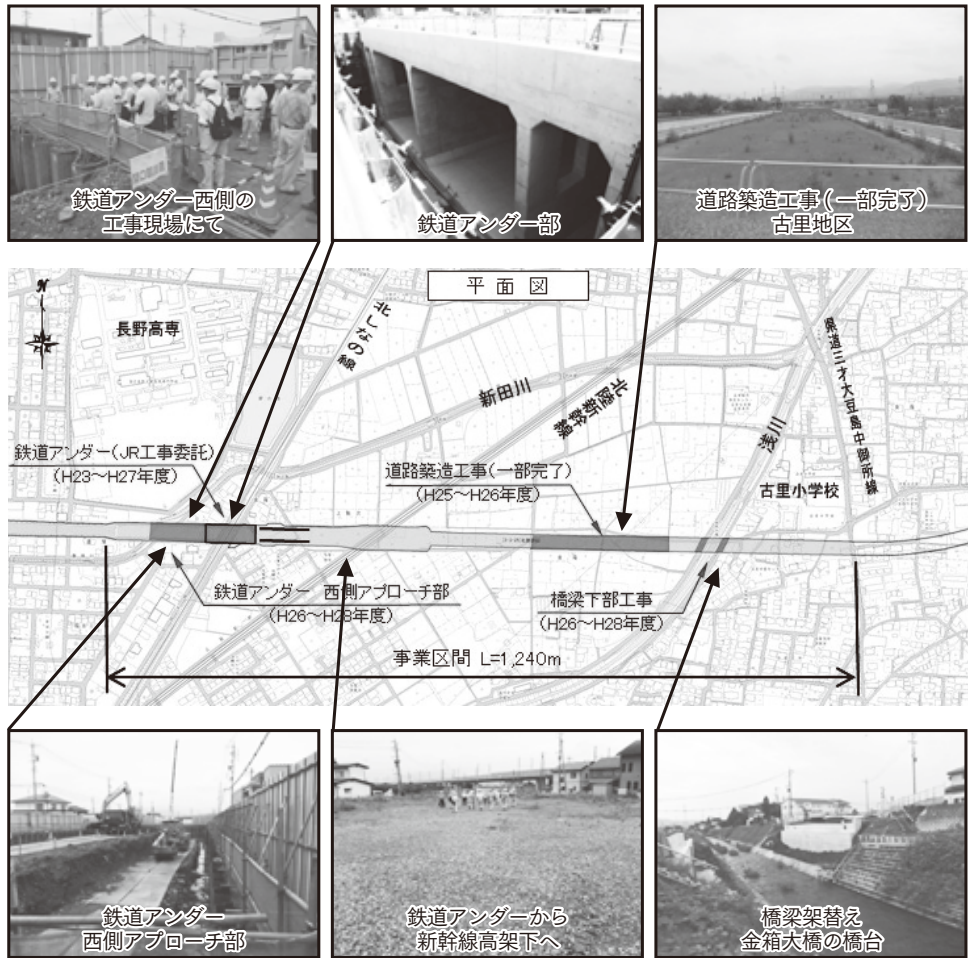
北部幹線は、上松4丁目の交差点を起点に、檀田→稲田→徳間→古里地区を經由し、長沼地区の穂保（アップライン）までを東西に結ぶ、車線数が4車線の都市計画道路です。

総延長約6,130m、標準幅員22mの長野市北部における主要な幹線道路として整備が進められています。

現在、長野高専の南から古里小学校の南を通り、県道（三才大豆島中御所線）までの約1,240mの区間では、平成29年度末の完成を目標に工事が行われています。

去る、7月30日に、北部幹線建設協議会による工事現場の見学会が行われ、「北しなの線の下をくぐる工事の現場」や「古里地区の浅川を渡る金箱大橋の架替え工事の現場」などで、市の担当者から工事の進捗状況について説明がありました。

今後、北しなの線から新幹線の高架下を通過する部分などにおいても順次工事が行われることとなりますので、協議会としても北部幹線の早期完成に向けて積極的な取り組みを行うとともに、地域の発展と生活環境の向上が図られるよう、関係機関等との協議を進めてまいります。



8月2日 山千寺観音祭り・四万八千日法要が執り行われました

この日の法要に参列すると4万8千日間分の法要にあずかったことになるほどの御利益があるという山千寺恒例の観音祭りが8月2日午後2時から同観音堂に於いて執り行われました。

吉区、田子区の役員の方々はじめ多くの地元の方々のご参加の下、地藏院真田法海住職による法要、オカリナ演奏グループ「アリエッタ」によって宗次郎作曲「観音」が奉納されました。

杉の木立に囲まれた境内には厳粛な読経が流れ、「観音菩薩」を讃える流麗な音色が満ち溢れました。また、境内では地元のご婦人方が手作りきのこ汁を振る舞って参列の皆様を労いました。

今回、若槻地区住民自治協議会の後援を頂いての開催となり、土屋会長からは山千寺の歴史的文化的意義と価値に対する深いご理解と評価を頂きました。

当日、長野ケーブルテレビの取材を受け、祭りの様子は6日に放映されました。

市の文化財に指定されており、保存会を立ち上げ維持管理をしていますが、築200年を迎えようとしている観音堂は傷みも激しく、昨年、市からの補助金（工事費の1割程度）も頂き、緊急の修理をしました。しかし、舞台造りの張り出し部分やお堂周りの縁の浮きなどを含め、抜本的な修繕を早急に進める必要があります。

保存会では現状を把握し保存維持のための計画を練って具体的な取り組みを進めるとともに、若槻地区の皆様にご協力をお願いしたいと考えています。

若槻地区にとって重要な文化遺産である山千寺の保存維持に対しまして、地区を挙げてご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

追記

8月10日、わかつき会御一同様から多額のご寄付を頂戴しました。感謝申し上げますとともに御礼の報告を申し上げます。

(山千寺史跡保存会)

